

中高生に読んでほしい！
薬剤師・お薬に関するニュースレター

こ ん ぱ す Compass

2023年5月 Vol.5

薬学部2年生：杉山、3年生：小椋、瀧本、中川

～肥後薬局 日赤前店で肥後先生、錦織先生にお話を伺いました！～

肥後薬局 日赤前店 〒700-0941 岡山県岡山市北区青江1-11-6（岡山赤十字病院前）

- ◆ 岡山赤十字病院、岡山市民病院や岡山ろうさい病院など**広域の処方せんに対応**
- ◆ 在宅や施設入所の患者さんに対する地域医療に幅広く対応（**地域密着型サービス**）
- ◆ 職員の生活状況に応じた年休や時短制度が活用できる職員にも優しい職場



『肥後先生プロフィール』

2006年 福山大学薬学部卒業
 2006年 武田薬品工業（株）医薬情報担当者（厚木営業所）として勤務
 2013年 有限会社肥後薬局 副社長、日赤前店の管理薬剤師をしながら在宅業務を中心に活動
 岡山市薬剤師会 医療介護連携委員会（委員長）

肥後昇平先生に『在宅医療』についてお話を伺いました！

<在宅医療での仕事内容>

- 主に、患者さんのご自宅や施設に訪問して配薬や服薬指導を行う
- 患者さんの様子を伺い、病状や副作用、服薬状況の確認をする
- 服薬忘れ防止のための対策を講じる



<在宅医療で薬剤師に求められる事>

コミュニケーション能力

地域でチームとなり患者さんを支援するため、ご家族やご近所の方、在宅医療に関わる他の職種など様々な方とも**タイムリーなコミュニケーション**（情報の共有と伝達）が大切！

お薬きちんと飲めているかな？

服薬コンプライアンス・服薬アドヒアランスの向上

医師や薬剤師からの指示を守る“**コンプライアンス**”の向上に加え、**患者さん自身が積極的に治療へ参加する“アドヒアランス”**の向上への貢献が重視されている。

《印象的だった成功事例》

患者さんの薬の飲み忘れ防止のため、薬剤師がお弁当さんと話し合い「お弁当と一緒に患者さんに薬を渡すようにする」ことで患者さんの飲み忘れ防止に繋がった！



しかし、実際には薬局内業務と並行して行うため、**まだまだ課題は沢山ある…**

（例）患者さんの状態の経過が分かりづらい…
処方提案や他職種と服薬に関する意見交換をするタイミングが難しい… など



<最近の在宅医療のTOPIC>

Medical Care Station (MCS)：非公開型医療介護専用コミュニケーションツール

- ・岡山市で推奨されている**医療関係者のチャットツール**
- ・医師、看護師、薬剤師、介護士などが**1つのチームとなり患者さんの情報をリアルタイムに共有**

処方前後の患者の様子を把握し薬に関する適切なアドバイスができる！

日々変化する患者の情報が共有され医師へのタイムリーな提案も可能に！

ご家族との情報共有も可能！



肥後薬局でももちろん使用中！



実際のMCSを用いた説明を伺う様子

錦織淳美先生に『海外留学』と『働き方』についてお話を伺いました！



薬剤師 錦織 淳美 先生

『錦織先生プロフィール』

岐阜薬科大学出身。在学中に米国オハイオ州シンシナティ大学薬学部に1年間留学し、臨床薬学を学ぶ。卒業後、再度渡米し、フロリダ州立フロリダ大学薬学部に2年間留学。Pharm.D.プログラムを修了し、**当時、日本人としては3人目となるPharm.D.とフロリダ州薬剤師免許を取得。**帰国後は岡山大学病院薬剤部に勤務し、病棟での薬剤師業務や臨床研究に従事される。病院薬剤師業務を通して、病院外の医療環境にも強く興味を持ち、現在、在宅医療に積極的に取り組む肥後薬局で活躍中。薬学系の学会活動にも精力的に取り組まれている。

海外留学



きっかけ

元々**海外に興味**があり、大学1年生の時に英語の**先生から紹介**があったのがきっかけでした。英語はTOEFLやGREの勉強をしました。

日本で活かされたこと

まずは**コミュニケーション**です。外国人の患者さんには、詳しく話を聞いたり、相談に乗ることで感謝されることがありました。次に**精神面**です。海外で**様々な困難を乗り越えた経験**があるからこそ、**どんなことにも動じない強い気持ち**が得られました。他にも、海外の友達ができ、仕事の幅も広がりました。

口述試験

講義や臨床実習では定期的に**口述試験**があり、とても大変でした。試験前に面接官に私は英語が母国語でないことを伝えると私の背景を理解してくださり、なんとか試験も乗り越えることができました。

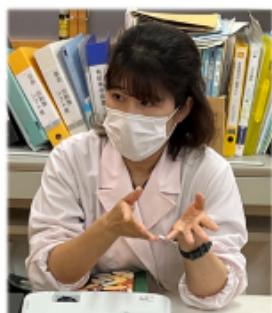
お金のこと

オハイオ州への留学費用は**自分で稼いだバイト代**でした。フロリダ州への留学では、費用は親や祖父から援助してもらいました。宿や学校への手続き等は大学がしっかりサポートしてくれました。



家族親戚の理解

親には最初は**猛反対**されましたが、なんとか説得して留学にこぎつきました。祖父には**すぐ帰ってくる**と思われていたようで、逆に**絶対に諦めない！やり遂げてやる！**という気持ちが強くなりました。



つらかった思い出

やっぱり**英語が伝わらない**ことです。読み書きはできても、**会話になると分からないことが多かった**です。特に、授業中の先生のジョークに自分だけ、笑えなかったのは惨めに感じました。ついに、目を腫らさない泣き方もマスターしました。



留学して分かった「日本の薬剤師の強み」

日本人特有の優しさは強みです。この他人に寄り添う気持ちは大切にしたいです。**緻密性の高さ**も素晴らしいです。データの正確さにも現れています。欧米では薬を開発する試験でも、皆で力を合わせて一気にやり遂げる**凄さ**はありますが、一方で「粗さ」があります。この過程で穴があると、後の医療で**大問題**となることがあります。



日本の薬剤師の課題はある…？

変化に対する順応の遅さでしょうか。日本は丁寧で何をすることも細部まで詰めてから物事を進めるため、**変化への対応も遅い傾向**があります。気づくと計画が元通り…ではなかなか先に進みません。

錦織先生流 ～ライフワークバランスのススメ～



今は産休・育休はとりやすい

昔に比べ、男女ともに職場に関係なく休暇をとりやすくなっている



家族との協力やファミリーサポートの活用

夫の育休取得や、家事・育児の分担、互いの両親の協力も必要。家族との時間の確保のために子育て支援制度等を活用するのも良い！

- ・産休、育休は取りやすい？
- ・復帰後、職場を変えるべき？
- ・復帰後、仕事についていけない？
- ・育児との両立ができる？
- ・体力が心配…

同じ職場への復帰がおすすめ

仕事内容や仲間が同じ方が、慣れているため戻りやすい！

こまめな休暇取得による家庭と仕事の両立

復帰前の仕事量に戻るには、休んだ期間と同じ日数が必要。産休育休の分割取得や、フレックスタイム制度の活用により、仕事量の負担を軽減できる(^ ^)



体力は徐々に戻る

産後や育児は、どうしても体力の消耗と自分の時間の確保が難しい。仕事から意識が離れやすいが、子供の成長と共に戻ってくる。



今回の訪問で私たちが得たもの

在宅医療は、そこに関わるすべての人の協力で成り立っているため、薬剤師同士だけでなく、多職種間での連携も大切であることを学びました。

また、海外留学のお話を伺い、人との出会いや小さなきっかけを大事にして、興味のあることは迷わず実行してみる勇気も必要であると感じました。

肥後薬局 日赤前店の皆さん、ご協力ありがとうございました！！